

第 4 部

50 年 の あ ゆ み

＝年 表＝

年	月	主な動き	月	教育・出版	月	大会・シンポジウム	月	研究委員会・研究会	月	国際交流	月	経営・経済・社会一般	年
1944 (昭和19年)	11	大日本技術会創立（工政会・日本技術協会・全日本科学技術統同会の3団体統合）											1944 (昭和19年)
1945 (昭和20年)												8 広島・長崎に原子爆弾投下 8 太平洋戦争終結 8 連合国総司令部（GHQ）設置（横浜） 12 貸日本規格協会創立 * 農林省（元農商省）、商工省（元軍需省）、通信院（元運輸通信省）の誕生	1945 (昭和20年)
1946 (昭和21年)	4 5 5 6 7 8 12	大日本技術会解散 日本科学技術連盟創立（中央区京橋大阪商船ビルに事務所設置） 進藤武左衛門氏執行委員長就任 異良知氏第2代執行委員長兼初代理事長就任 技術代表者会議開催 封鎖預金等指定申請 大蔵省から封鎖預金等指定の認定	7 8	『日本科学技術連盟ニュース』創刊 『アトム』創刊			*	内閣調査局戦争調査事務局委託：科学技術活用に関する調査			2 8 10 11 *	アメリカ品質管理協会創立（ASQC） 『規格ト標準』誌創刊（日本規格協会）本誌は1950年4月『JIS』に1956年1月『標準化』に1964年4月『標準化と品質管理』に改称 国際標準化機構設立（ISO） 日本国憲法公布 通信省（元通信院）、行政調査部、経済安定本部、物価庁の誕生	1946 (昭和21年)
1947 (昭和22年)	8 8	石川一郎氏初代会長就任 小柳賢一氏初代専務理事兼事務局長就任	10	『最新機器綜合型録』刊行					1 Deming博士来日（GHQ）		5 10 *	日本国憲法施行 (社)企業経営協会創立 宮内府（元宮内省）、労働省（厚生省から分離）の誕生 経済白書：経済実相報告書	1947 (昭和22年)
1948 (昭和23年)	1 3 8 12	井上隆根氏第2代理事長就任 エンジニア・クラブ発起人会 日科技連幹事会発足 エンジニア・クラブ開場	6	機関誌『エンジニア・クラブ』創刊			11 12	クオリティ・コントロール調査委員会発足 エンジニア・クラブ開設（各分野の科学者・技術者の交流の機会と場の提供）			4 12 *	(社)中部産業連盟創立 (社)企業研究会創立 法務庁（元司法省）、地方財政委員会（元内務省）、建設省（元内務省）、行政管理庁（元行政調査部）の誕生 経済白書：経済情勢報告書	1948 (昭和23年)
1949 (昭和24年)	1 4	経済安定本部委託で海外技術調査委員会発足（その中のファクトリー・マネジメント部会は今日のQCベーシック・コースの種子となる） 岡田信次氏第3代理事長就任	1 4 9	GHQ ESSのカイト氏を招いてエンジニア・クラブ初例会開催 大学院講座開設 第1回スタチスチカル・クオリティ・コントロール・セミナー開設（現・品質管理セミナー・ベーシックコース）			6 8	SQC Research Group発足 ファクトリー・マネジメント委員会設置 * 経済安定本部委託：海外技術調査（4ヵ年継続）			2 4 7 9 11 *	(社)日本経営協会創立 1ドル360円為替レート設定 工業標準化法施行（日本工業規格JIS） C C S 経営講座開催（G H Q） 湯川秀樹博士（日科技連参与）ノーベル物理学賞受賞 宮内庁（元宮内府）、法務府（元法務庁）、通商産業省（元商工省）、地方自治庁（元地方財政委員会）、郵政省（元通信省）の誕生 経済白書：経済状況の分析	1949 (昭和24年)
1950 (昭和25年)	4	勝田雄次郎氏第4代理事長就任	3 7 7 8 9 9 11 11 12 12	『品質管理』誌創刊 Deming博士品質管理8日間コース TWIトレーナー講習会開催 経営者のための品質管理講習会ほか開催（箱根） 品質管理セミナー・マスターコース開催 品質管理大阪講習会開催 品質管理名古屋講習会開催 自動車工業のための品質管理講習会開催 品質管理アドバンストコース開設（後の品質管理部課長コースおよび実務計画セミナー） 『品質の統計的管理』（Deming博士講義録）刊行			8 9	経営管理研究委員会設置 K委員会発足（工業生産に統計的品質管理の研究機関）	6	Deming博士来日	1 3 3 3 4 6 *	1,000円紙幣発行 (社)日本経営率研究所創立 JISマーク表示制度発足 学産能大学創立 全日本能率連盟創立 朝鮮戦争勃発 北海道開発庁誕生 特需景気 経済白書テーマ：経済現況分析	1950 (昭和25年)
1951 (昭和26年)	6 9	「デミング賞委員会」発足、「デミング賞」創設 第1回デミング賞授賞式（大阪）	1 3 4 8 11	市場調査講習会開催 『Reports of Statistical Application Research, JUSE』創刊 経営管理組織講習会開催 Deming博士による品質管理セミナー開催（東京・名古屋・大阪・福岡）、市場調査セミナー開催（東京） 市場調査セミナー開設	9	第1回デミング賞受賞記念品質管理大会開催（大阪）	10 12	市場調査幹事会発足 鉱工業に於けるサンプリング研究会設置 * 通商産業省委託：鉱工業に於けるサンプリングの実際の方法に関する研究	7	Deming博士来日	9 9 9 9	(社)日本経営士会創立 サンフランシスコ平和条約調印 日米安全保障条約調印 経済白書：年次経済報告	1951 (昭和26年)

年	月	主な動き	月	教育・出版	月	大会・シンポジウム	月	研究委員会・研究会	月	国際交流	月	経営・経済・社会一般	年
1952 (昭和27年)	12	ASQC日本支部の発足と事務局代行	1	Deming博士「市場調査指導クリニック」開催(熱海) 品質管理ペーシックコース大阪クラス開設 『統計的品質管理の基礎理論と応用』(Deming博士講義録)刊行 色彩調節工学講座開催	11	第2回品質管理大会を開催(東京) 以後毎年11月に東京で開催	10 11	市場調査委員会発足 オペレーションズ・リサーチ委員会発足	1	Deming博士来日	4 4 12 *	(社)セールス・プロモーション・ビューロー創立 GHQ廃止 官庁技術者懇談会(官技懇)発足 法務省(元法務庁)、自治庁(元地方自治庁)、経済審議庁(元経済安定本部と物価庁の統合)、保安庁の誕生 米国国防省AGREE設置(信頼性研究開始) 経済白書:独立日本の経済力	1952 (昭和27年)
1953 (昭和28年)	5 11	久留島秀三郎氏第5代理事長就任 工業標準化普及推進に対して通産大臣から感謝状受ける	4 6 10	Brandt博士統計的方法特別講習会開催 (海外権威による特別講演会) オペレーションズ・リサーチセミナー教育コース開設 鉱工業におけるサンプリング講習会開催			1	品質管理訓練教程作成研究会発足			2	テレビ放送開始(NHK) 経済白書:自立経済達成の諸条件	1953 (昭和28年)
1954 (昭和29年)	11	「日経品質管理文献賞」創設	6 7 7 8 11 12	『品質管理入門』(QCテキスト・シリーズ) 刊行開始 Juran博士による「品質管理マネジメント講習会」開催(箱根・高野山)「部課長コース」開催(東京・大阪) Juran博士著『品質管理ハンドブック』刊行 Duncan著『品質管理のための統計学』刊行 サーベイ・テクニックセミナー開催 『品質管理講義録』(Juran博士講義録)刊行			2 4 4 6 9	M委員会発足 統計機械活用委員会発足 統計的方法に基づく最初のJISとして、M 8105「鉄鉱石試料採取方法」がサンプリング研究会鉄鉱石専門部会の原案作成により制定 ラジオ・アイソトープ研究委員会発足 鉱山業OR委員会発足	7	Juran博士来日	*	防衛庁(元保安庁)誕生 経済白書:地図めの時	1954 (昭和29年)
1955 (昭和30年)	6	(株)JUSE出版社創立(現・日科技連出版社)	5 5 5 9 10 11 12	品質管理部課長コース開設 実験計画法セミナー(DE)開設 統計機械活用セミナー開催 『オペレエイションズ・リサーチの方法』Morse & Kimball共著日科技連訳刊行 『ASQC品質管理必携』日科技連SQCリサーチグループ訳刊行 Deming博士サンプリング講習会開催(東京・福岡) Deming博士品質管理講習会開催(大阪) 『QCダイアリー』刊行	7 12	オペレーションズ・リサーチ研究 発表会開催 ラジオ・アイソトープの工業への 応用シンポジウム開催	3	官能検査部会発足(K委員会の一部会)	11	Deming博士来日	3 6 7 7 9	(社)日本生産性本部(現・社会経済生産性本部)創立 1円硬貨発行 経済企画庁発足 (社)日本産業訓練協会創立 日本生産性本部第1次トップマネジメント視察団訪米	1955 (昭和30年)
1956 (昭和31年)	7 10	日本短波放送「品質管理講座」放送開始(第1期3ヶ月間) 日本短波放送「品質管理講座」第2期放送開始(3ヶ月間)	4 4 6 8 8 9 12	品質管理入門コース開催(東京・大阪) Wilks博士「順序統計量とその応用講習会」開催 『オペレーションズ・リサーチ』誌創刊 ラジオアイソトープセミナー開催 Chenery博士「オペレーションズ・リサーチ特別セミナー」開催 卓上計算機による線形計画法短期セミナー開催 『品質管理成功法』(Juran博士講義録改訂版)刊行	5	P. C. Mahalanobis博士による定期講演会開催	4	アナログ・コンピュータ研究委員会発足	6	Deming博士Shewhart Medal受賞	5 6 8 9 11	科学技術庁発足 品質管理方式研究会発足(日本規格協会) 全国官公庁技術者懇談会(全技懇)発足 欧州品質機構創立(E O Q) 西堀榮三郎博士南極予備観測隊副隊長として南極へ出発	1956 (昭和31年)
1957 (昭和32年)			1 3 6 7 7 9	機関誌『エンジニア・クラブ』(B5版横組みに改訂) 二項確率紙による統計的解析講習会開催 サンプリング短期セミナー開催 アナログ・コンピュータ・セミナー開催 品質管理重役特別コース開設(軽井沢) 官能検査セミナー開設	5 9	第1回春季品質管理大会開催(大阪) 色彩調節シンポジウム開催	10 10	機械工業OR委員会発足 オペレーションズ・リサーチ連合研究会発足	11	品質管理視察団渡米(日本生産性本部)	5 6 7 10	5,000円紙幣発行 日本オペレーションズ・リサーチ学会設立 NHKラジオ(第2放送)「新しい経営と品質管理講座」放送(日本規格協会) 人工衛星スプートニク1号打上げ成功(ロシア) なべ底不況('57下期~'58下期) 経済白書:速すぎた拡大とその反省	1957 (昭和32年)

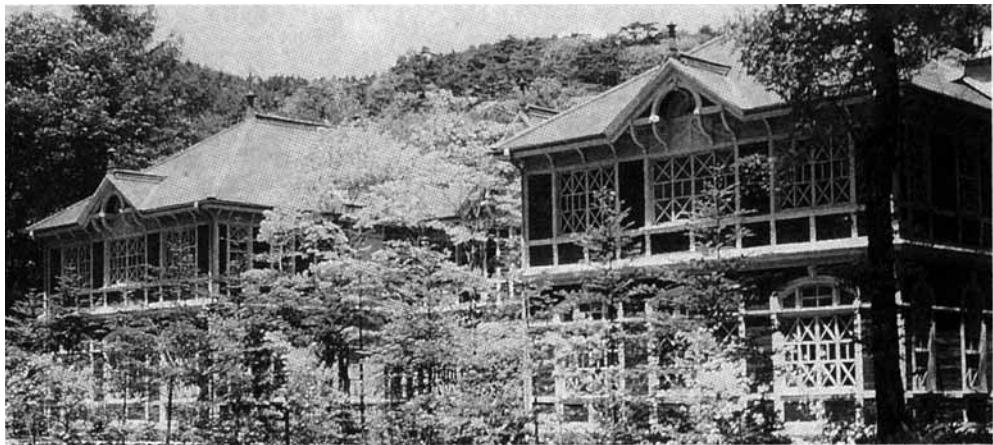
年	月	主な動き	月	教育・出版	月	大会・シンポジウム	月	研究委員会・研究会	月	国際交流	月	経営・経済・社会一般	年
1958 (昭和33年)	1	日本短波放送日科技連アワー「経営の鍵」放送開始 (株)日本科学技術研修所創立、同時に計算センター開設(渋谷区千駄ヶ谷) デミング賞「中小企業賞」創設(デミング賞委員会)	2	トップマネジメントによるオペレーションズ・リサーチ会議開催(箱根) フランスORセンターSalzman氏講演会開催 マネジメント演習(ビジネスゲーム)開催(箱根) 計算機械プログラミング短期セミナー開催			2	アナログコンピューター同好会(アナコン研究会)発足 T委員会(信頼性研究委員会)発足			1 10 11 12 *	品質管理専門視察団訪米(日本生産性本部) 第1回標準化全国大会開催(日本規格協会) 東京・神戸間こだま号運転開始 1万円紙幣発行 調達庁(防衛庁から分離)誕生 岩戸景気('58下期~'61下期) 経済白書:景気循環の復活	1958 (昭和33年)
1959 (昭和34年)	1	日本科学技術研修所、千駄ヶ谷5-10-11にビル建設着工	1 4 8 11	Pabst博士品質管理特別セミナー開催 機関誌『エンジニア・クラブ』を『エンジニアーズ』に改称 経営と管理のための数学短期セミナー開催 Dantzig博士オペレーションズ・リサーチ・トップコース開催(箱根)、同スタッフコース開催(東京・大阪) 自動計算機活用短期セミナー開催			3	官能検査研究会発足	3	Shewhart博士来日		P.F.Drucker氏来日、各地で講演 経済白書副題:速やかな景気回復と今後の課題	1959 (昭和34年)
1960 (昭和35年)	6 7 11	デミング賞10周年記念行事開催 日本科学技術研修所ビル竣工(日本科学技術連盟事務局一部移転) 品質月間制定	6 6 6 7 9 9 10 10 11	第10回品質管理大会特別講演開催 (Hamaker,Deming,Duncan 3博士) ISI東京総会開催記念海外権威者4博士による特別セミナー開催 (Wilks,Cochran,Hamaker,Deming) 品質管理・職組長教育の仕方講習会開催 工業分析セミナーポーラログラフ分析実習 コース開催 ダイナミック・プログラミングコース開催 工業生産における信頼性短期セミナー開設 電子計算機基本プログラミング入門コース開催 電子計算機活用セミナー開催 Juran博士特別セミナー「社長・重役コース」(箱根・奈良)、「部課長コース」開催(東京・大阪)	10 11	官能検査大会開催 品質月間行事開催	4 7 10	工業分析委員会発足 工業分析研究委員会発足 新製品開発委員会発足	5 6 10	Deming博士夫妻来日 Deming博士勲二等瑞宝章叙勲 Juran博士来日	5 6 9 10 11 12 12	チリ津波三陸沿岸大被害 新安保条約発効 カラーテレビ放送開始 東京都の屋間人口1,000万人突破 NHK教育特集「日本製品の品質」(品質月間参加番組)NHK第2放送 国民所得倍増計画発表 Juran博士特別講演会(日本経済新聞社主催)日科技連協賛 * 自治省(元自治庁)誕生 2輪車生産台数世界1位(149万台) テレビ受信機生産高世界2位(357万台) 経済白書:日本経済の成長力と競争力	1960 (昭和35年)
1961 (昭和36年)	5	日科技連15周年記念祝賀会開催(於:椿山荘)	4 6 8 8 11	実験計画法入門コース開設(東京・大阪) 新製品開発セミナー開催 MIT-ORセンターMorse,Howard,Dobbie3博士によるORセミナー開催 抜取検査入門短期コース開催 Bliss博士による統計的方法短期セミナー開催(東京・大阪)			5	アナログ技術研究会設立			4 5 5	ガガーリン宇宙飛行士ヴォストーク1号にて地球1周(ロシア) アジア生産性機構設立 アナログ技術研究会設立 経済白書副:成長経済の課題	1961 (昭和36年)
1962 (昭和37年)	4 5	日科技連、財団法人の認可取得 QCサークル本部設置	2 4 4 8 8 9 10	『工業における官能検査ハンドブック』刊行 『現場とQC』誌創刊 ALGOLによるプログラミング入門コース開催 実験計画法セミナー大阪コース開設 エレクトロニクス信頼性入門講座開催 PERT・CPMセミナー開催 品質管理経営幹部特別コース開設(六甲) オペレーションズ・リサーチ部課長コース開設(現・経営戦略部課長コース)	7 11 11	数学計画シンポジウム開催(MPS) 職組長品質管理大会開催 消費者大会開催(品質月間行事)	3 6	人間工学委員会発足 信頼性文献抄録委員会発足			3 5	テレビ受信契約者1,000万人突破 家庭用品品質表示法公布 * 防衛施設庁(元調達庁)誕生 経済白書:景気循環の変貌	1962 (昭和37年)
1963 (昭和38年)	1 4 4	大阪連絡事務所開設(北区曾根崎・成晃ビル2階) 技術相談業務開始 日科技連事務所日本橋・坂田ビルに移転	4 4 9 10 10 10 12	Hoff博士軽構造セミナー開催 軽構造セミナー開催 経営システム開発セミナー開催 IEセミナー開設 計算数学基礎コース開催 『信頼性文献抄訳集』創刊 ORを中心とする電子計算機セミナー開催	5 11	QCサークル大会開催(仙台) トップ・マネジメント品質管理大会開催	6 8	ダイナミック・プログラミング理論開発班 発足 軽構造委員会発足	5	第1次品質管理海外視察チーム派遣(米国)	9 11	第13回CIOS(国際経営科学協会)大会にて小柳専務理事ゲストスピーカーとして参加(ニューヨーク) ケネディ米大統領暗殺 半導体生産額世界2位(339億円) 経済白書:先進国への道	1963 (昭和38年)

年	月	主な動き	月	教育・出版	月	大会・シンポジウム	月	研究委員会・研究会	月	国際交流	月	経営・経済・社会一般	年	
1964 (昭和39年)	9	QCサークル支部発足(関東・東海・近畿・北陸)	3 10 11	人間工学入門コース開催 ダイナミック・プログラミング関係セミナー開催 アナログ電子計算機応用セミナー開催					5	小柳専務理事Edwards Medal受賞 (ASQC)	6 10 10	新潟大地震 東海道新幹線開業(東京→新大阪間4時間) 東京オリンピック開催 粗鋼生産量世界3位(3,979万トン) 経済白書:開放体制下の日本経済	1964 (昭和39年)	
1965 (昭和40年)	1 1 5 6 11	「FQC賞」(『現場とQC』誌)創設 小柳賢一専務理事逝去 高松武彦氏第2代専務理事兼事務局長に就任 QCサークル中国・四国支部発足 デミング賞15周年記念行事開催	2 3 6	信頼性セミナー入門コース(現基礎コース) 開設 『ASTM品質管理必携』(全訂版)翻訳刊行 Morse,Howard,Murray,Salzmann4博士による「MIT-ORセミナー・スタッフコース」、「MIT-ORセミナー・マネジメントコース」開催	6 11	品質管理シンポジウム開設 日米Bulk MaterialsのSamplingに関する科学協力セミナー開催	2 4 5 6	信頼性機械工業分科会発足 行動科学研究委員会発足 人間工学研究会発足 関西信頼性研究会発足	5 7 9 11	第2次品質管理海外視察チーム派遣(米国) C.R.Rao博士来日 日本の代表IAQの6人委員会のメンバーに加わる(石川馨・木暮正夫) Deming博士来日	1 4 10	効企業経営通信学院創立 (社)日本バリュー・エンジニアリング協会創立 朝永振一郎博士ノーベル物理学賞受賞 ZD運動広がる 経済白書:安定成長の課題	1965 (昭和40年)	
1966 (昭和41年)	1 2 11	日科技連、渋谷区千駄ヶ谷に移転 デミング賞「実施賞事業部賞」創設 QCサークルの歌制定(QCサークル本部)	4 4 7 8 10 11	Juran博士「品質管理トップ・マネジメントコース」、「部課長コース特別セミナー」開催 応用数学入門講座開催 信頼性セミナー部課長コース開催 実務のための計算数学基礎コース開催 品質管理コンピューターコース開催 軽構造セミナー入門コース開催	10	工程解析研究討論会開催	6 11	工程解析研究会発足 品質工学研究委員会発足	4 5 6	Juran博士来日公開講演会開催(東京・大阪・名古屋) 第3次品質管理海外視察チーム派遣(欧米) EOQCストックホルム大会でQCサークル特別討論会開催(Juran博士、日本のQCサークル活動を紹介)	5	文化大革命(中国)	1966 (昭和41年)	
							*	日本専売公社委託:電子計算機導入に関する総合システムの研究開発				いざなぎ景気('65下期~'70下期) 経済白書:持続的成長への道		
1967 (昭和42年)			1 2 4 9 10	品質管理セミナー職組長基礎コース開設 部課長のための営業と技術セミナー開催 機関誌『エンジニアーズ』を「engineers」に改称 Bliss博士講演会開催(東京・大阪) Nyblén氏品質管理セミナー講演会開催(経営幹部特別コースで講演)	7	未来学シンポジウム開催	2 4 4 4 10 10	未来学企画委員会発足 総合工学企画委員会発足 行動科学研究委員会発足 複合材料研究委員会発足 関西新製品研究委員会発足 IE特別研究会開催	5 9 10	第4次品質管理海外視察チーム派遣(欧米) ICQC'69-Tokyo組織委員会設置 スウェーデン「鉄鋼企業のQC調査チーム」来日	5 8	第1回Q-S全国大会開催(日本規格協会) 公害対策基本法施行	1967 (昭和42年)	
							*	科学技術庁委託:理工学分野における研究水準の測定に関する調査				経済白書:能率と福祉の向上		
1968 (昭和43年)	11	QCサークル九州支部発足	8 8 10 11	営業部門のための日科技連コース開催 データ処理プログラム入門コース開催 Juran著『主要産業における品質管理』東洋レーヨン訳刊行(品質管理ハンドブック第3巻) 関西新製品開発セミナー開催	7	複合材料シンポジウム開催	4	複合材料研究会設置	4 8	第1次QCサークル海外派遣チーム(米国) 第5次品質管理海外視察チーム派遣(欧米)			GNP世界第2位(1,428億ドル) 経済白書:国際化のなかの日本経済	1968 (昭和43年)
							*	科学技術庁委託:農業分野における研究水準の測定に関する調査 首都圏整備委員会委託:研究学園都市の建設促進に関する調査 工業技術院委託:化学分析試験規格の体系調査						
1969 (昭和44年)	6 6	井上啓次郎氏第3代専務理事就任 西原哲郎氏第3代事務局長就任	4 9	日科技連研究院総合工学コース開催 品質工学セミナー開催	5 7	第100回QCサークル記念大会開催 QCサークルシンポジウム開催(箱根)	4 5	複合材料研究会発足 関西部課長QC会議発足	3 4 6 10	ICQC'69後援会発足 オランダ品質管理視察団来日 ICQC'69運営委員会発足 ICQC'69-Tokyo開催(世界初の国際品質管理大会)	7	アポロ11号月面着陸	1969 (昭和44年)	
							*	工業技術院委託:JIS Z 8402分析試験の許容差通則の原案作成、JIS M 8081沈殿銅のサンプリング方法及び水分決定方法の原案作成 建設省委託:首都圏に集中する人口の効率的収容のための都市システムと費用効果に関する研究 首都圏整備委員会委託:人口・産業の集中要因と分散可能性調査				テレビ受像機生産台数世界1位(1,269万台) P.F.Druker氏『断絶の時代』発表 経済白書:豊かさへの挑戦		

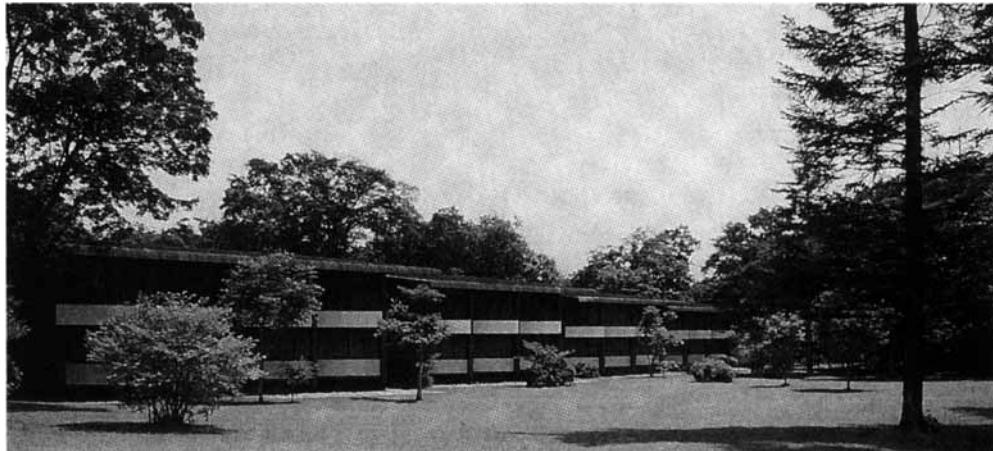
年	月	主な動き	月	教育・出版	月	大会・シンポジウム	月	研究委員会・研究会	月	国際交流	月	経営・経済・社会一般	年
1973 (昭和48年)	1	『現場とQC』誌を『FQC』に改称 第1回SQC賞授賞式開催(大阪)	1	QCサークルトップコース開催 現場のための応用コース開催	6	交通運輸計画シンポジウム開催	3	評価問題事例研究会開催	5	メキシコQC視察団来日	1	ベトナム平和協定調印	1973 (昭和48年)
	5	鈴江康平氏第7代理事長就任	2	『FMEA・FMECAの解説書』刊行	4	流通部門品質管理研究会発足	6	アルジェリア工業標準化視察団来日	2	Kullback博士来日	2	変動相場制1ドル264円	
	6	前田陽吉氏第4代事務局長就任	5	『教育担当者協議会』ニュース発行	4	大気汚染防止技術研究委員会発足	8	シミュレーション技術研究会発足(旧アナログ技術研究会)	8	プロダクト・ライアビリティ海外視察チーム派遣(欧米)	10	第1次石油危機	
	10		5	新国土建設特別ビジョン研修会開催	10	プロダクト・プランニング研究委員会発足	10	プロダクト・プランニング研究会発足	9	スペインSEAT社QC視察団来日	10	江崎玲於奈博士ノーベル物理学賞受賞	
			5	新製品開発セミナーとシンポジウム開催	10	プロダクト・ライアビリティ研究会発足	*	茨城県委託：住宅フレーム設定のための基礎調査	11	ロッキーDQCサークル視察チーム来日			
			10	PLPセミナー(製品賠償責任予防)開催 (Sternberg, Marhefka両氏)			*	日本専売公社委託：経営改善の資金モデル分析					
							*	工業技術院委託：JIS M 8101 銅鉱、鉛鉱、亜鉛鉱、すず鉱、金鉱などのサンプリング方法					
							*	農林省委託：米生産調整の要因に関するシステム分析					
							*	首都圏整備委員会委託：東京湾地域総合整備計画推進に関する基礎調査					
							*	建設省委託：全国総合交通体系調査					
							*	科学技術庁委託：ライフサイエンスに関する総合レビュー(現状と展望)					
												粗鋼生産量1億トン突破、史上最高記録 経済白書：インフレなき福祉をめざして	
1974 (昭和49年)	5	QCサークル東北支部発足	2	人事組織ケース・スタディ・コース開催	10	Juran博士「サービスの品質管理シンポジウム」開催	4	信頼性データ研究会設置	4	マネジメント・サイエンス海外視察チーム派遣(米国)	5	国際協力事業団創立	1974 (昭和49年)
	4	Ball博士信頼性特別セミナー開催	4	関西新製品開発特別コース開催			*	建設省委託：全国総合交通体系調査	7	サンシャイン計画開始(工業技術院)			
	6	PLP特別セミナー開催(Jacobs, Kahng, Keeton, Dickson各氏)	6	Juran博士特別品質管理セミナー「トップ・マネジメントコース及び部課長特別コース」開催			*	科学技術庁委託：ライフサイエンスに関する総合レビュー	10	佐藤栄作元首相ノーベル平和賞受賞			
	10		11	物流管理ケース・スタディ・コース開催			*	国土府委託：メッシュ手法による国土の土地利用並びにネットワークに関する基礎的なシミュレーション					
							*	農林省委託：水田利用に関するシステム分析					
							*	日本専売公社委託：利益管理モデルの開発					
												* 国土庁(建設省から分離)誕生 経済白書：成長経済を越えて	
1975 (昭和50年)	11	デミング賞25周年記念行事開催	2	営業部門のための品質管理入門コース開設(大阪)	11	Deming博士「トップ・マネジメントQC大会」「部課長・スタッフ大会」で特別講演	1	信頼性データ研究会発足	9	第8次品質管理海外視察チーム派遣(欧州)	4	ベトナム戦争終決	1975 (昭和50年)
	3	中堅作業者のための品質管理基礎コース開催	3	製品責任対策セミナー開催	12	第500回QCサークル大会開催(佐賀)	*	建設省委託：道路網の配置に関する調査研究、バイパスの交通解析調査	11	Deming博士来日	6	複合材料学会設立	
	6	公害防止技術者のための環境管理セミナー開催	6	『信頼性管理ガイドブック』刊行			*	科学技術庁委託：物性データバンクの整備に関する調査およびライフサイエンスに関する総合レビュー	12	韓国標準協会と交流(韓国の品質管理技術指導)	7	沖縄国際海洋博覧会開催	
	8	『分析・試験技術者・環境計量士のための統計的手法基礎コース開催	8	『品質のあゆみ』刊行			*	農林省委託：農村地域開発手法検討調査			11	IQC開催(ベニス)	
	11	『品質のあゆみ』刊行(デミング賞25周年記念)	11				*	国土府委託：国土情報管理システムの基礎設計			11	第1回先進国首脳会議(サミット)開催(フランス)	
													経済白書：新しい安定軌道をめざして
1976 (昭和51年)			3	製品責任対策セミナー開設			7	デザインレビュー委員会発足	4	東アジアQCサークル国際交流会開催(韓国・ソウル)(現・国際QCサークル大会)	7	田中角栄元首相、ロッキー事件で逮捕	1976 (昭和51年)
	6	TQC実務者コース開設(現・TQC推進スタッフ実践コース)	6	経営戦略部課長コース開設			*	国土府委託：メッシュ手法による基礎的な長期展望シミュレーション	10	Deming博士来日	9	酒田市大火、1,774棟焼く	
	6	信頼性技法実践講座「FMEA・FTA」開設	9	Deming博士MRセミナーで特別講演			*	農林省委託：農村地域開発手法検討調査					
	10	Deming博士MRセミナーで特別講演					*	経済企画庁委託：欧米におけるプロダクト・ライアビリティ問題の現状調査					
							*	科学技術庁委託：物性データバンクの整備に関する調査およびライフサイエンスに関する総合レビュー					
1977 (昭和52年)	6	前田陽吉氏第4代専務理事就任	1	コンピュータ優良プログラム紹介講座開催	5	住宅産業における品質問題シンポジウム開催	5	「QC手法開発部会」「新QC七つ道具研究部会」に改称	5	第9次品質管理海外視察チーム派遣(欧米)	4	中国地区品質管理研究会発足(広島)	1977 (昭和52年)
	12	土光敏夫氏第3代会長就任	7	臨床試験における統計応用コース開催	5	新QC七つ道具特別研究発表会開催(東京・大阪)	9	数学ソフトウェア研究会発足	6	東南アジアQCサークル国際交流会開催(台湾・台北)	5	日本品質管理学会社団法人認可	
			7	QCサークルリーダーコース開設	10	多変量解析シンポジウム開催(第7年度研究会)	*	科学技術庁委託：物性データバンクの整備に関する調査研究	11	メキシコ品質管理研修団受入れ開始	12	近藤良夫氏グラン賞受賞(ASQC)	
			7	信頼性技法実践講座「デザインレビュー」開設	10	GMPセミナー開設	*	経済企画庁委託：消費財メーカー等における品質確保の実態調査					
			9	『デザインレビュー・ガイドブック』刊行	10	環境システム工学特別講演会開催							
			12	有限要素法による流れ解析セミナー開設	12								経済白書：安定成長への適応を進める日本経済

年	月	主な動き	月	教育・出版	月	大会・シンポジウム	月	研究委員会・研究会	月	国際交流	月	経営・経済・社会一般	年
1984 (昭和59年)	2	QCサークル沖縄支部発足	6 7 9 10 10	職組長のためのVE基礎コース開設 管理者・スタッフのための新QC七つ道具セミナー入門コース開設(東京) 地盤工学における数値解析法セミナー開催 サービス産業におけるTQCセミナー入門コース開催 多変量解析法セミナー入門コース開催	2	「管理者・スタッフのための新QC七つ道具」シンポジウム開催(東京)			1 6 9 10	米国経済事情視察団派遣 第14次品質管理海外視察チーム派遣(欧州) ICQCC'84(フィリピン・マニラ) 中国地区品質管理研究会主催のTQCと情報システム訪米調査団に協力	10	米国10月を「品質月間」とする * 総務庁(元行政管理庁)誕生 経済白書:新たな国際化に対応する日本経	1984 (昭和59年)
1985 (昭和60年)	4 11 11	日科技連新宿分室開設(新宿吉田ビル) デミング賞35周年記念行事開催 鈴江康平氏(日科技連理事長)勲一等瑞宝章叙勲	1 5	『QCスライド改訂版』刊行 英訳版「QCサークル活動運営の基本」刊行	11	サービス産業における品質管理大会開催	4 4	ソフトウェア生産における品質管理研究会発足 地盤工学における計算力学研究会発足	5 5 6 11	ICQCC'85-Tokyo開催 国際QCサークルセミナー開催 第15次品質管理海外視察チーム派遣(欧州) Deming博士来日	3 4 4	国際科学博覧会開催(つくば-Expo'85) 日本電信電話公社民営化 日本専売公社民営化 経済白書:新しい成長とその課題	1985 (昭和60年)
1986 (昭和61年)			3 8	信頼性技法実践講座「故障解析」コース開設 『故障解析ガイドブック』刊行	6	地盤工学における数値解析法シンポジウム開催	4	信頼性研究会発足	6 7 10	第16次品質管理海外視察チーム派遣(欧州) 日本シミュレーション学会国際シンポジウム開催 ICQCC'86(韓国・ソウル)	5 7 11	日本品質管理学会15周年祝賀会開催 『15年のあゆみ』刊行 日本シミュレーション学会、国際会議開催伊豆三原山、大噴火 経済白書:国際的調和をめざす日本経	1986 (昭和61年)
1987 (昭和62年)	4	QCサークル25周年記念祝賀会開催	4 10 10	『QCサークル活動25年史』刊行 新しい有限要素法入門セミナー開設 オペレーションズ・リサーチセミナー入門コース開催	8	計算力学シンポジウム開催			5 10 12	第17次品質管理海外視察チーム派遣(欧州) ICQCC'87-Tokyo開催 ICQCC'87(タイ・バンコック)	3 4 8 10	ISO 9000シリーズ制定 日本国有鉄道民営化 マルコム・ボルドリッジ国家品質賞制定(米国) 利根川進博士ノーベル生理学医学賞受賞 経済白書:進む構造転換と今後の課題	1987 (昭和62年)
1988 (昭和63年)	1 5	『FQC』誌を『QCサークル』に改称 科学技術国際交流推進センター開設	10	ソフトウェア生産管理「部課長コース」開設	3	第2000回QCサークル大会開催(東京)	7 8 12	品質機能展開研究会発足 信頼性チェックリスト研究開発委員会発足 流通業における品質管理研究委員会発足	5 10 11	第18次品質管理海外視察チーム派遣(米国、ブラジル) 国際TQCセミナー開設 ICQCC'88(台湾・台北)	3 4 9 10	青函トンネル開通 本州四国連絡橋瀬戸大橋開通 EFQM創設(ヨーロッパ) 第1回マルコム・ボルドリッジ国家品質賞授賞式(米国) 経済白書:内需型成長の持続と国際社会への貢献	1988 (昭和63年)
1989 (昭和64年/平成元年)	1 9	特許法第30条第1項に基づく学術団体の指定を受ける ベーシックコース開設40周年記念行事開催	4 6 6 10 11	信頼性技法実践講座「信頼性向上のためのチェックリストの作り方・使い方」開催 営業部門のための「新QC七つ道具」セミナー入門コース開設 品質機能展開セミナー入門コース開設 医薬データの統計解析専門コース開設 TQCにおける方針管理セミナー開設	1	エルゴノミクス・ヒューマンファクター研究委員会発足	4 7 9 11 12	第1次ソフトウェア製品品質管理調査団派遣(欧米) クオリティ・マネジメント視察団派遣(欧州) 第19次品質管理海外視察チーム派遣(欧州) フロリダ電力デミング賞実施賞受賞(初の海外受賞企業) ICQCC'89(インドネシア・バンドン)	1 4 4 5 11	昭和天皇崩御、元号「平成」となる 石川馨・西堀栄三郎両博士逝去 中国地区品質管理研究会、中国地区品質管理協会に改称、同協会で「第1回中国地方品質管理賞」贈呈式 水野滋博士逝去 ベルリンの壁崩壊 経済白書:平成経済の門出と日本経済の新しい潮流	1989 (昭和64年/平成元年)		
1990 (平成2年)	3 5 5 10 11 11	「FQC賞」を「石川馨賞」と改称 近藤次郎氏(日科技連理事)勲一等瑞宝章叙勲 後藤正夫氏(日科技連理事)勲一等瑞宝章叙勲 通信教育開設20周年記念行事開催 デミング賞40周年記念行事開催 野口順路氏第5代事務局長就任	4 11	サービス産業・販売業のためのQCサークルリーダーコース開設 『デミング賞創設40周年』刊行	3 5 9	管理者・スタッフの新QC七つ道具研究事例発表会開催 エルゴノミクスシンポジウム開催 流通・情報システムシンポジウム開催	6 8	TQC Research Group設立準備委員会発足 感性計測技術研究委員会発足	5 6 10 10	第20次品質管理海外視察チーム派遣(米国) 信頼性・保全性国際シンポジウム開催(日科技連信頼性・保全性シンポジウム20回記念) ICQCC'90-Tokyo開催 Juran博士来日(TQC国際セミナー) ゲスト講師として特別講義	3 8 10 11	MIT産業生産性調査委員会レポート『Made in America』日本語訳刊行 湾岸戦争勃発 長崎雲仙普賢岳噴火 ドイツ国家統一 経済白書:持続的拡大への道	1990 (平成2年)
1991 (平成3年)			10	パソコンによるやさしい信頼性解析法セミナー開設	3	品質機能展開シンポジウム開催	* * * * *	工業技術院委託:JIS改正原案調査作成 (1)M 8812 石炭類及びコークス類の工業分析方法 (2)M 8814 石炭類及びコークス類の元素分析方法	4 10	第21次品質管理海外視察チーム派遣(欧州) ICQCC'91(インドネシア・バリ)	5 10 10	日本信頼性技術協会を日本信頼性学会に改称 European Quality Award制定(欧州) ISO 9000シリーズの対応JIS(Z 9900シリーズ)制定 経済白書:長期拡大の条件と国際社会における役割	1991 (平成3年)

年 度	月	主 な 動 き	月	教 育・出 版	月	大 会・シ ン ポ ジ ピ ム	月	研 究 委 員 会・研 究 会	月	国 際 交 流	月	経 計・経 済・社 会 一 般	年 度	
1992 (平成4年)	2	日科技連東高円寺ビル着工(杉並区高円寺1-2-1)	1 4 10 11	品質管理セミナー係長・主任コース開設 ISO 9000 審査員研修コース開設(IQA) AHP(階層化意思決定セミナー)開設 ISO 9000内部監査員コース開設(IQA)			4	TQC Research Group Work Shop開催	10	ICQCC'92(韓国・ソウル)	6 9 11	地球サミット開催(ブラジル) 毛利衛さんスペースシャトルで宇宙へ 第1回ブラジル国家品質賞(ブラジル)	1992 (平成4年)	
												経済白書:調整を越えて新たな展開をめざす日本経済		
1993 (平成5年)	6	鈴江康平氏第4代会長就任	3	ソフトウェア生産管理「管理者基礎コース」開催	4	第3000回 QCサークル大会開催(東京)	9	品質情報システム研究委員会発足	6 11 12	第22次品質管理海外視察チーム派遣(欧州) 第4回ルノーサンボジウム協賛開催 ICQCC'93(タイ・バンコック)	4 6 7 11 12	品質工学フォーラム発足(日本規格協会) 皇太子殿下・小和田雅子さんとご成婚 Ishikawa Medal創設(米国) 北海道南西沖地震(奥尻島) 『信頼性の歴史』刊行(日本信頼性学会) Deming博士逝去	1993 (平成5年)	
	6	前田陽吉氏第8代理事長就任	7	ロジスティック・システムデザインセミナー開設								経済白書:バブルの教訓と新たな発展への課題		
	6	野口順路氏第5代専務理事就任	9	「新QC七つ道具」セミナー部課長コース開設										
	6	日科技連東高円寺ビル竣工(現・TQM事業部移転)												
	11	ISO/QSセンター,ISO/QS研修事業部設置												
1994 (平成6年)	3	日科技連ビル1号館改修	2 3 4 4 6 7 10 11 11	ISO 9000 審査員研修コース開設 ISO 9000 推進担当者コース開設 ISO 9000 入門コース開設 ISO 9000 内部監査員コース開設 ソフトウェアの品質管理セミナー「デザインレビュー」コース開設 QCサークル経営幹部コース開設 製品安全専門講座「安全技術者コース」開設 経営の効率性分析と改善セミナー開設 製品安全専門講座「管理責任者コース」開設	6 10	TQC Research Group によるシンポジウム開催 品質情報システムシンポジウム開催	6 *	品質改善手順研究委員会発足 工業技術院委託:JIS改正原案調査作成 (1)M 8081 沈殿鉄のサンプリング方法及び水分決定方法 (2)M 8082 銅製鍛用故銅及び銅さいのサンプリング方法並びに水分決定方法 (3)M 8083 ばら積み非鉄金属浮遊精鉱のサンプリング方法 (4)M 8815 石炭灰及びコークス灰の分析方法 (5)M 8817 石炭類の形態別硫黄の定量方法	5 5 10	Ishikawa Medal の第1回授与式(米国ASQC) 第23次品質管理海外視察チーム派遣(米国) ICQCC'94(香港)	5 6 7 9 9 10	英仏海底トンネル開通 製造物責任(PL)法制定 向井千秋さん(日本人女性初の宇宙飛行士) 宇宙へ 関西国際空港開港 ピックスリーQS-9000発表(米国) 大江健三郎氏ノーベル文学賞受賞	1994 (平成6年)	
												経済白書:厳しい調整を越えて新たなフロンティアへ		
1995 (平成7年)	3	ISO/QSセンター,ISO/QS研修事業部JABの認定を取得	4	電子・機械システムの信頼性技術セミナー開設(大阪)			2 4 4	物作りの基本研究委員会発足 ネオダマ時代の品質管理研究委員会発足 品質改善研究委員会発足	3 10	品質機能展開国際シンポジウム開催 ICQCC'95-Yokohama開催	1 3 4 7 11 12	阪神淡路大震災 地下鉄サリン事件 世界都市博覧会中止 製造物責任(P L)法施行 科学技術基本法施行 臨海副都心新交通ゆりかもめ開通 日本経営品質賞創設(社会経済生産性本部) GDP2年連続世界1位(国民1人当たり3万7,618ドル) 経済白書:日本経済のダイナミズムの復活をめざして	1995 (平成7年)	
	6	高橋貞雄氏第5代会長就任	10	課題達成型QCストーリーセミナー開設										
	6	橋林愛朗氏第9代理事長就任	10	官能評価セミナー入門コース開設										
	6	福田正文氏第6代事務局長就任	10 11	物作りの基本特別講座開設 商品企画七つ道具セミナー開設										
1996 (平成8年)	5	日科技連50周年	3 3 4 5 6 7 10 11 12	ISO 9000とTQMの融合セミナー開設 戦略立案と方針管理セミナー開設 事務系部門のためのやさしい統計解析講座開設 『QCサークル活動の基本(旧・綱領)』改定版刊行 「新QC七つ道具」実践コース開設 経営者のためのISO 9000一日コース開設 知的生産性アップのためのマネジメントセミナー開催 部課長・スタッフのための課題達成型QCストーリーセミナー開設 QS 9000一日コース開設			4	信頼性開発技術研究会発足	5 10 10	第24次品質管理海外視察チーム派遣(米国) ICQCC'96-Yokohama開催 ICQCC'96(マレーシア・クアラルンプール)	7	科学技術基本計画の閣議決定	1996 (平成8年)	
												経済白書:改革が展望を切り開く		
1997 (平成9年)	1	日科技連50周年記念特別講演会・祝賀会開催	1 1 3	設計開発のためのマネジメントセミナー開設 『50年のあゆみ』刊行 TQMフォーラム開催							2	1996年度日本経営品質賞表彰式、報告会開催(社会経済生産性本部)	1997 (平成9年)	



品質管理セミナー重役特別コースの会場として使用した軽井沢・三笠ハウス
1970年7月の第27回まで27年間使用（現在は重要文化財）



品質管理セミナー重役特別コースの会場として使用の軽井沢・ホテル鹿島の森（1971年から）



品質管理セミナー経営幹部特別コース、品質管理シンポジウムなどで使用している箱根・ホテル小涌園